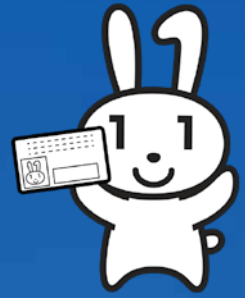


マイナンバーカード作成の お手伝いをします



写真撮影から申請までの一連の手続きを、職員がサポートしています。運転免許証など顔写真付きの本人確認書類、または「マイナンバーカード交付申請書」をお持ちの上、お気軽にご利用ください。

受付時間

- 平日：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
- 土・日曜日：午前 9 時～正午、午後 1 時～5 時
(第 3 土曜日に続く日曜日を除く)

受付場所

市民課及び各支所（土・日曜日は、市民課、多賀・南部・十王支所のみ）
*マイナンバーカードのお渡しは、申請から約 1 か月半後となります。

国からマイナンバーカード作成のための「交付申請書」が送付されます

送付対象 マイナンバーカードをまだお持ちでない方

【次の方は送付対象外】

- 75 歳以上の方（既に後期高齢者医療広域連合から送付されています）
- 令和 4 年中に出生または国外から転入された方（既に個人番号通知書とともに送付されています）
- 在留期間の定めのある外国人住民の方（地方出入国在留管理局において周知されているため）
- 配偶者からの暴力（DV）、ストーカー行為、児童虐待など、これらに準ずる行為の被害者として、住民票の住所と異なる居所情報を登録している方

送付期間 7 月下旬～9 月上旬

送付元 国（地方公共団体情報システム機構（J-LIS））



マイナポイント第 2 弾！実施中！

令和 4 年 9 月末日までにマイナンバーカードを申請された方を対象に、最大 20,000 円分のマイナポイントが付与されます！

問合せ マイナンバーカードの申請について
マイナポイントの取得方法について

市民課 ☎ 内線 507
デジタル推進課 ☎ 内線 587

特集 郷土の宝 日立市の文化財

日立市文化財保存活用地域計画を策定
—我がまちの風土に培われた文化財を、市民のくらしに活かし守る—

市の文化財の保護とその活用によって地域を盛り上げるため、「日立市文化財保存活用地域計画」を策定しました。今号では、文化財の紹介や、それらをどのように活用していくのかをご案内します。

郷土博物館
鈴木 恒志

ユネスコ無形文化遺産

国指定 ひたちふうりゅうもの
日立風流物 (宮田町)

元禄8年(1695年)、徳川光圀の命により神峰神社が宮田・助川・会瀬の3村の鎮守になったとき、氏子たちが、無病息災・五穀豊穰など日々の豊かな暮らしを祈願して山車を造り、祭礼に奉納したのがはじまりです。後に村人たちが「からくり人形の芝居」を組み合わせるようになったと考えられています。

市の主な文化財

「ご存じですか？」
市のさまざまな文化財

市には、他に誇るすばらしい文化財があることをご存じですか？

ユネスコ無形文化遺産に登録されている「日立風流物」や国指定の遺跡である十王の「長者山遺跡」をはじめ、国や県、市の指定・登録文化財が73件あります。

そのほか、これまで受け継がれてきた風習やまちの発展の歴史を記すもの、自然が形造ったカンブリア紀の地層などひたちらしい資産がたくさんあり、指定や登録をされていないものも含めて広く「文化財」と位置付けています。まず、数ある中から、特色ある文化財をセレクトしてご紹介します。

ぜひ直接足を運んで、郷土ひたちの歴史を感じてみてください！



国指定

長者山遺跡 (十王町伊師)

←『常陸国風土記』に記述がある「藻島の駅家」は、奈良時代に反乱を起こした陸奥国の蝦夷征討のため古代官道沿いに設置された施設で、現在の長者山遺跡に当たると推定されています。「駅家」は、現代の高速道路のサービスエリアのようなものといえます。

↓都から太平洋沿岸を北上し陸奥国に至る奈良・平安時代の公用の道の跡です。陸奥国の蝦夷を征討するため、軍需物資の輸送や征討軍の移動に使用されました。軍用道路の性格を有しており、蝦夷征討事業の収束に合わせて、古代官道沿いに設置された駅家は平安時代初期に廃止されました。



国指定

古代官道跡 (十王町伊師)

古代版ハイウェイ & サービスエリア！案内ツアーも行っています。



県指定

木造万年大夫夫婦坐像 (郷土博物館展示)

←徳川光圀が諏訪神社を参詣した際、古い万年大夫夫婦坐像を永久保存するために、新像2体(後列)を職人に造らせ、古い像(前列)を新像の胎内に納め奉納したものです。



県指定

泉が森 (水木町)

←『常陸国風土記』には「密筑の里に清らかな泉があり大井と呼ばれている」という旨の記述があり、大井周辺が理想郷のように豊かな土地で、人々が飲んで遊び楽しむ様が記されています。この「密筑の里の大井」は現在の泉が森に当たると推定されています。



県指定

日立のささら (郷土博物館に装束展示)

↑日立のささらは、宮田・助川・会瀬・成沢・諏訪・大久保・水木の7地区の、それぞれ地域の神社の祭礼で神輿の先導を務め、獅子舞を奉納するものです。



県指定

きゅうくはらほんぶ
旧久原本部（日鉦記念館）

←旧久原本部は、明治 38 年（1905）に久原房之助が旧赤沢銅山を買収し日立鉦山と改称して開業した際に、本部とした小家屋です。久原房之助はここで幹部らとともに、鉦山開発に力を尽くしました。



県指定

南高野貝塚（南高野町）

←久慈川の支流、茂宮川に面した台地上に立地する貝塚です。貝でできた腕輪や動物の骨を加工して作った釣針等が出土していることから、当時の人々の生活に河川や海が果たす役割が大きかったことが分かります。

*写真は出土品



市指定

かしゅうかんあと
大窪城跡（暇修館跡）（大久保町）

←大窪城は平安時代末期に平氏が現在の久保町に築いた城で、室町時代の応永期（1394～1428）に、佐竹氏の重臣大窪氏が居城としました。大窪城跡の一角には、天保 10 年（1839）に庶民教育のための学校である郷校興芸館が建てられ、後に暇修館と改称されました。現在の暇修館は、昭和 48 年に復元されました。



たつわれさん たちわりし
堅破山の太刀割石（十王町黒坂）

←十王町の堅破山山頂には、古代に八幡太郎義家が切ったとされる真っ二つに割れた卵型の巨石があり、太刀割石と呼ばれています。堅破山は蝦夷征討の戦勝を祈願する信仰の地で、太刀割石も、蝦夷征討の神として崇敬されていたといわれています。



県指定

5馬力誘導電動機

（日立オリジンパーク、郷土博物館展示）

↑ 5馬力誘導電動機（5馬力モーター）は、日立鉦山の発電所で技師をしていた小平浪平が開発した電動機です。この電動機開発をきっかけとした、久原房之助の資金援助を受けての新工場設立が、小平浪平による日立製作所の創業となりました。



市指定

そうまひ
相馬碑（多賀町）

↑ 永禄 5 年（1562）に相馬中村（福島県相馬市）の城主相馬盛胤が佐竹氏の領地であった本市域に侵入し、孫沢原、現在の多賀町辺りで戦いました。相馬碑は、戦死した多くの将士の供養碑です。中世末期の建立と推定されています。



カンブリア紀層（宮田町、小木津町ほか）

↑ 多賀山地の地層で最も古いものは約 5 億年前のカンブリア紀に遡ります。これは国内でも最古の貴重な地質です。カンブリア紀層は、山間部だけでなく、市内のかみね公園展望台付近などで確認することができます。



このほかにも貴重な文化財がたくさんあります。それぞれの文化財の詳しい場所などについては、郷土博物館に問い合わせてください。

日立市文化財保存活用地域計画のポイント

日立市にあるさまざまな文化財。これらの魅力をより引き出し、まちづくりにいかしていくため、昨年3月に「日立市文化財保存活用地域計画」を策定し、12月に文化庁の認定を受けました！



どんな計画？

本市が取り組む目標や取組の具体的な内容を記載した、文化財の保存・活用に関する基本的なアクションプランです。市民の皆さんと共に「ひたちらしき」という本市固有の、あるいは他に秀でた個性ある文化を育て、まちづくりにいかしていくための計画です。

計画では何を進めていくの？

市の文化財は、6つの歴史文化の特徴（下図参照）ごとに分けることができます。これらを適切に保存しつつ、同じ歴史文化の特徴を持つ文化財や、拠点となる施設、周辺観光施設などを結ぶ周遊ルート「文化財回廊」を設定することで、文化財への関心を深めるとともに、楽しめるような活用を進めていきます。

拠点となる施設って？

文化財情報の提供や駐車場、

の特徴と文化財回廊・サテライトガイダンス

①悠久の日立の歩みが刻まれる大地と海

文化財回廊「悠久のひたちを巡る回廊」

特徴

約5億年前に形成されたカンブリア紀の地層や、全国唯一の鶉捕りの対象となるウミウの渡来やさまざまな巨木や樹叢が生育する豊かな生態系などの、海と山を中心とした自然的・地理的環境が展開しています。

- 主な文化財** カンブリア紀層、本山の一本杉など
- メインガイダンス** 郷土博物館

②『常陸国風土記』が描く原始・古代の豊かな生活 文化財回廊「古と近代の理想郷ひたちを追想する回廊」

特徴

『常陸国風土記』に記された地名の現在地が推定可能であり、当時の人々の暮らしを想像できる遺跡が久慈川などを中心に見られ、現代においても古代の有様を感じられます。

- 主な文化財** 泉が森、南高野貝塚など
- サテライトガイダンス** 日立オリジンパーク

③領主の庇護下で培われた中近世

文化財回廊「中近世の情熱を辿る回廊」

特徴

大窪城などの中世の城館跡は佐竹氏、助川海防城跡は近世の水戸徳川家の支配の痕跡を示し、市内各地の寺社に残る仏像や絵画、棟札、流鏝馬などはそれらの領主から保護を受けたことを伝えています。

- 主な文化財** 大窪城跡、助川海防城跡、相馬碑など
- サテライトガイダンス** 暇修館

④日立鉱山が導いた近代鉱工業都市としての始まりと発展 文化財回廊「鉱工業都市ひたちの軌跡が導く回廊」

特徴

近代に久原房之助が開発した日立鉱山、鉱山開発のため5馬力誘導電動機を発明した小平浪平が創業した日立製作所は、世界に向けて展開する工業都市としての現代の日立に繋がっています。

- 主な文化財** 旧久原本部、5馬力誘導電動機、旧共楽館など
- サテライトガイダンス** 日鉱記念館

⑤坂東と陸奥を繋ぐ街道

文化財回廊「坂東と陸奥を繋ぐひたちの回廊」

特徴

長者山遺跡は蝦夷征討のための古代官道に付随する「藻島駅家」と推定され、陸奥国と隣接する地理的環境を特徴づけています。近世の岩城相馬街道と棚倉街道は、現代は国道として整備され受け継がれています。

- 主な文化財** 長者山遺跡、豎破山の太刀割石など
- サテライトガイダンス** 伊師町田園都市センター

⑥神宿る峰へ捧げる山車からくりと多様な祭礼 文化財回廊「からくりと祭礼が描く回廊」

特徴

神峰神社の7年に一度の大祭礼で4台の山車が奉納される日立風流物や「ささら」と呼ばれる獅子舞など、近世から続く祭礼や行事が、伝統を受け継ぎながら次の世代へ伝えられています。

- 主な文化財** 日立風流物、日立のささら、大久保鹿島神社の流鏝馬など
- サテライトガイダンス** 風流物展示施設(整備予定)

文化財は、長い歴史の中、文化的な活動から生み出された貴重な価値を有するものです。美術品や建築物などのカタチあるものから、風習や祭礼などカタチのないものまでさまざまです。これまでも文化財が失われ、今も滅失の危機にあるものもあります。

文化財は全ての人々の財産であり、私たちは未来に守りつないでいかなければなりません。そのためにも文化財を上手に活用しながら、保存していく活動を、この計画に沿って進めていきたいと思えます。



郷土博物館 館長 宮内 雅弘

トイレ、休憩設備などの「おもてなし機能」を備えた施設（サテライトガイダンス）です。今後、このサテライトガイダンスを、既存の施設を活用するなどして、6つの文化財回廊ごとに整備していきます。

*回廊のコースなどについては、今後、随時お知らせします。

こちらは6つの歴史文化の特徴ごとの文化財回廊や、そこに位置する主な文化財、サテライトガイダンスをマップ上に表したものです！



計画は、右記QRからご覧になることができます。



市 HP



問合せ 郷土博物館 ☎ 23-3231